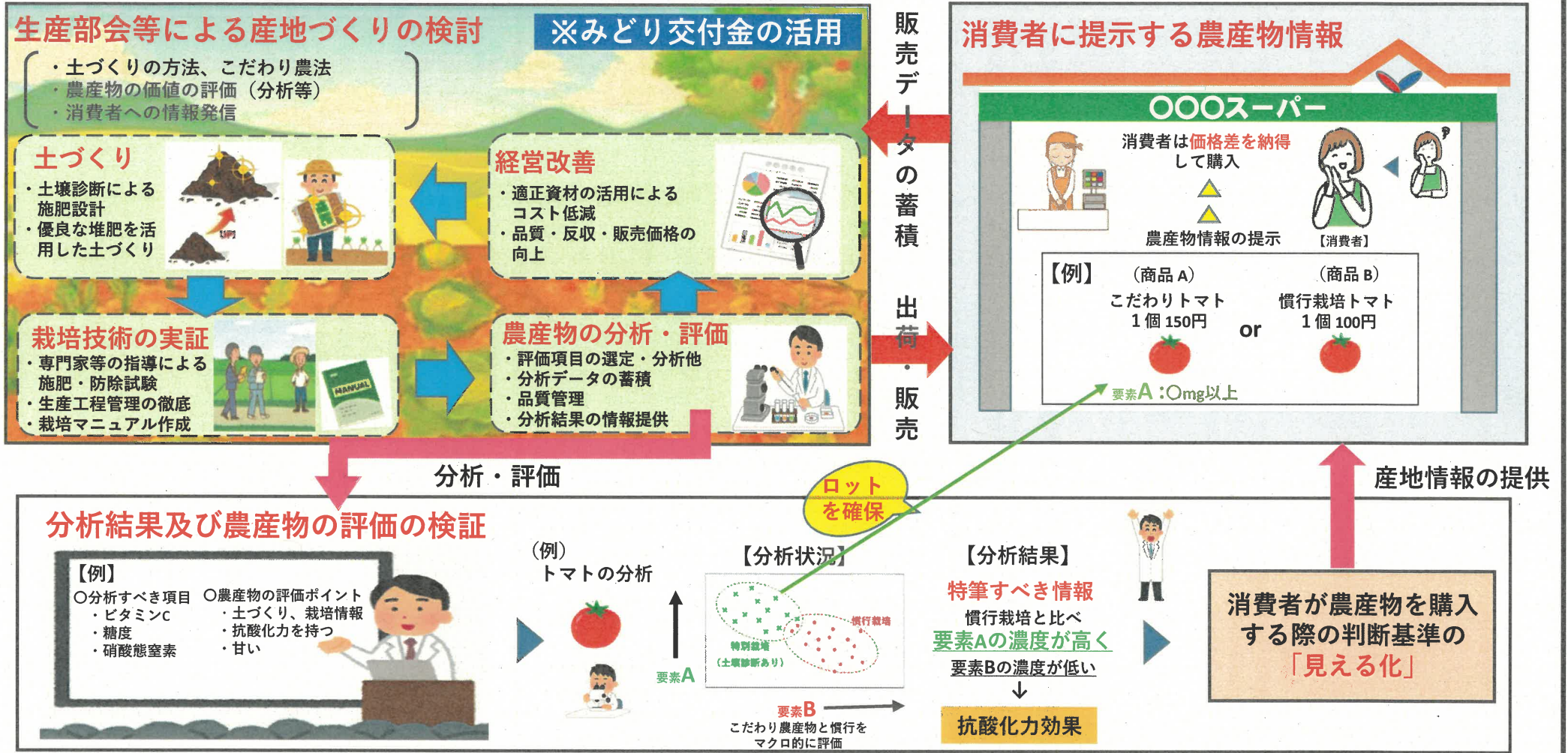


生産者のこだわりを農産物価格に反映する取り組み（案）

- ①「日本の農産物＝安全」が定着している中、減農薬・減化学肥料、環境保全のみで消費者の納得を得るのは困難
- ②消費者の納得を得るには、農産物の価格と価値（美味しさ、健康増進等）等の判断材料を示すことが必要
- ③安定的に販売するには、一定の品質を保ちつつ、市場が要求するロットを確保することが必要



みどりの食料システム戦略の推進及び環境負荷軽減

生産者のこだわりを農産物価格に反映する取り組み

減農薬・減化学肥料により生産した農産物の評価について

減農薬や減化学肥料など、生産者がこだわりを持って生産した農産物

生産者の努力が、農産物価格に反映されているか？

消費者の消費行動

商品の価値と価格をもとに購入を決定

※減農薬・減化学肥料や環境保全のみをもって、消費者の納得を得ることは難しい。

生産者の対応

消費者の納得を得るため、積極的な取組が必要

※生産者は「消費者の理解が必要」という受け身の発想ではなく、積極的な取組が重要。

こだわり農産物による産地づくり

- ① こだわり農法に関する情報提供
- ② 農産物の価値（美味しさ、健康増進等）について、具体的なエビデンスをもって示す
- ③ 生産費（手間をかけた農産物に係る必要経費等）に関する情報提供

により、慣行農法で生産した農産物との違いを明確にし、消費者に価格差を納得してもらう。

1. こだわり農産物による産地づくり

生産部会等による産地づくりの検討

※みどり交付金の活用

特別栽培農作物や有機農作物の生産に取り組んでいる地域において、生産部会等を中心に、生産者の皆さんの協力を得ながら、こだわり農産物の生産に関する取組を実施。

（徹底した栽培管理・品質管理のもと、産地として組織的に取り組むことが必要）

検討項目

【例】

- ・地域に適した栽培品目の選定
- ・土づくりの方法
- ・こだわり栽培方法
- ・農産物の価値情報（分析他）
- ・消費者への情報提供のあり方

※土づくりや農産物の栄養素（価値）に関する専門家等の意見をもとに、農法と農産物の価値を評価しやすい方法（消費者の納得を得やすい評価方法）等を検討。

2. こだわり農法を具体化

良質な堆肥等を活用した土づくり及び栽培方法

生産者の協力のもと、産地が組織的に取り組み、できるだけ多くのサンプルを検証し、産地にあった生産システムを構築。

土 壌 診 断

土壌診断に基づく、適正な施肥設計

※土壌診断を実施し、適正な散布量・散布時期を通して、肥料成分バランスや土質を整えることが重要。

堆肥による土づくり

良質な堆肥等の地域資源を活用した土づくりの実践
※高品質で、成分が明確な堆肥を確保するとともに、不足成分を化学肥料で補うことも必要。土づくりの数値化。

こだわりの栽培方法

産地に適した効果的な播種・施肥・防除・収穫体制
※こだわりの栽培方法と農産物の価値を関連づけて評価することに注意。

品質確保の方法

生産管理体制の徹底による品質確保の検証

※生産履歴や土壌診断結果の保存、農産物抽出検査・評価の確立。

（必要に応じて、実証により確認）

実証の結果等を踏まえた栽培マニュアルを作成し、生産者のすそ野を広げることが重要

3. 農産物の価値の評価、消費者が納得するための情報

農産物の分析による評価の数値化

○農産物に応じて栄養成分等を評価・分析し、消費者が納得するエビデンスを蓄積して情報提供。

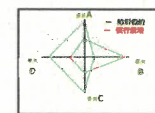
○抽出検査結果や品質管理のチェック体制に関する情報提供。

農産物の分析・評価

例えば、硝酸、ビタミン、抗酸化成分等を分析し、うまさや健康効果等を数値化

【例】

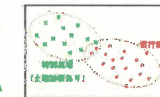
（リッ）JAの分析結果



圃場単位・生産者単位で分析・評価

多くのサンプルを分析することで、農産物の信頼性を高める。

（分析データの蓄積）



要素A

要素B

（産地としての組織的な取組）

□□産地で、◆◆条件を満たしたもの

●●価値を保証

※圃場単位・生産者単位で評価

農産物の栄養素は同じ生産者であっても、圃場条件、栽培方法、気候等ごとにバラツキが発生することに注意。

4. 経営改善

生産費の数値化

コストの抑制を図り、経営の効率化を進めつつ、農産物価格に必要経費等を的確に反映させることで、所得向上と経営安定を確立。

コスト抑制

地域資源の活用による生産コストの抑制

※資材が高騰する中、地域資源である堆肥等を活用した持続可能な農業を展開し、コスト削減を実践。

高付加価値化

こだわり農産物の差別化を図ることによる所得向上

※こだわり農産物をPRすることと、慣行との差別化を図り、農業所得を確保。

※データの蓄積：生産費、生産量、販売単価等のデータを蓄積し、経営改善を実践。